

大阪地区 第112回 工技研のお知らせ

大阪地区「工技研」を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

工技研（工具鋼技術研究会）の名称にふさわしく、最先端の情報を盛り込んでご講演いただく予定ですので、ぜひご来場いただき活発なご討議をお願いいたします。

日時：2016年11月11日（金）

受付 14:00～

講演 14:30～17:10

会場：日立金属株式会社 西日本支社
（大阪市中央区北浜3丁目5番29号
日生淀屋橋ビル8F）
（TEL:06-6203-9719）



最寄駅：地下鉄 御堂筋線「淀屋橋駅」徒歩5分

司会：関西大学 名誉教授

工学博士 北嶋 弘一 氏

講演：

1) 14:30～15:30 「冷間プレス型における 次世代のスタンダード鋼 SLD-i™」

日立金属株式会社 安来工場 技術部 マネージャー（工具鋼） 黒田 克典 氏

内容：冷間プレス成形において、プレス製品の高精度要求、被加工材の高強度化が進んでいる。そのため、金型材料に対しては、熱処理変寸・経年変寸の低減、耐摩耗性の向上要求が高まっている。それに対して、日立金属（株）安来工場では、冷間プレス型材に特有の炭化物に着目し、合金設計と製造プロセスによる炭化物制御に取り組んだ。その結果、次世代のスタンダード鋼となるSLD-i™を開発した。その開発の経緯および特性について紹介する。

15:30～15:45 質疑応答

—————15:45～15:55 休憩 10分—————

2) 15:55～16:55 「最新のHPB 超高压クーラントで切削加工の生産性改革」

株式会社トクピ製作所 代表取締役社長 森合 主税 氏

内容：超高压クーラントによる切りくず処理HPB（ハイプレッシャーブレーカー）は、圧力7～30MPaの切削剤を刃先へピンポイントに噴射させることで、効率的な切りくずの破断・仕上面の高品位化など様々な効果を生み出し、現場の生産性の向上に繋がる。現在被削材質への冷却効果などの影響を検証。

16:55～17:10 質疑応答

工技研事務局

〒541-0041 大阪市中央区北浜三丁目5番29号（日生淀屋橋ビル）

日立金属株式会社 西日本支社 特殊鋼営業部 TEL:06(6203)9719 FAX:06(6222)2634